石垣島トライアスロン2021
（ 沖縄県石垣市 ）

報 告

日　時:2021年4月11日(日)
スタート:8時00分(10人5秒刻みローリングスタート方式)
参加者数:1000人
距　離:スタンダード(51.5km)
結　果:総合10位(年齢別1位) 総合タイム 2時間17分39秒
https://ishigaki-triathlon.jp/files/docs/2021/ishitra2021_result.0414.pdf
スイム1500m 23分30秒(24)
バイク40km 1時間09分31秒(7)
ラン 10km 40分26秒(17)

2021 年シーズンが始まった。コロナ禍の状況は依然と変わらない社会情勢の中で開始された。それでも人や社会は経験をもとに、成長の形を見せ始める。同じ状況でも環境を整えスポーツ界はオリンピックを見据え実行体制を作った。

トライアスロンという競技の特性で社会順応と思いやりの中で行われるスポーツ。その形を石垣島からスタートしたともいえる。

密集状態を避ける方式で開会式、表彰式すべてなし。競技説明会など必要事項はオンラインですべて行う。スタート方式もローリングスタートと特殊な方式だが、昨年の経緯と、実証実験より集団混雑内の水泳の危険性も消えるためこれがスタンダードになりつつある。

今回は有力選手として紹介され最初の **20** 人として先にスタートさせてもらった形であった。よってスタートすればゴールするまでは暫定的な順位になる。その中で人との競走より自分の力をとことん出し切る戦術が結果となるトライアスロンレースになってきたと感じる。その中で、スイムはもっと前に積極的に出るべきだったと思える。バイクに関しては向かい風で怯む中で逆に高速走行ができる自分をよい感覚で押して行けた。後半失速はしていたのはやはり後負荷トレーニング不足だろう。（反省と課題）ランもその影響で伸びない。シューズの履く段階でミスをし、それが筋肉へ影響を与えた。これも走りながら経験値として刻まれた。

トライアスロンは何年たってもいろいろあるもので、取り組む姿勢を問われるスポーツだ。今回、我々のカテゴリーには世界チャンピオンがおり、彼がたまたま調子が上がらず年代別優勝は転がってきたが、前述したように最後までレースを捨てない心意気がこの結果をもたらすことを感じれたことは、初戦でこれは大きいと思える。

今シーズンはまだコロナ禍の中で様々な対応や状況判断が必要だろう。受け入れながらしっかり見つめ望んでいきたい。

「あきらめなければ夢 **100**％」

プロマインド トライアスリート 福元テツロー










あきらめなければ
夢
100%


9

